

キャリア教育で子どもたちの未来づくり

《はぐくみ先生のご尽力》

豊後大野市では、市民の皆さんにお願いして、小・中学校のゲストティチャー「はぐくみ先生」を募集し、登録しています。現在52名の方が登録されています。

「はぐくみ先生」は、主に、「匠のWAZA(①もの作り②技体験)」と「社会見学(郷土学)」、「職業講話」等のゲストティチャーとして、小・中学生に直接、自身がお持ちの技術や知識、さらには、自らの生き方を伝授してくれます。その体験を通して、子どもたちの将来設計の可能性が広がるとともに、夢や夢探しを糧に今の学習や生活に意欲的に向かっていく子どもたちの育成を目指しています。

以下に「匠のWAZA」の様子をお知らせいたします。

「匠のWAZA(ものづくり)」 新田小学校 11月27日(金)

新田小学校では、5・6年生20名が「大工さん」「陶芸」「お花屋さん」「竹細工」の4つのコーナーにチャレンジしました。みんな、はぐくみ先生の指導を受けながら、素敵な作品ができました。

【大工さんコース】



私は、のこぎりが思っていたのと全然違う大きさだったのにびっくりしました。そして、木を切ったり釘を打ったりするのが心配になりました。でも、はぐくみ先生の話を聞いてやってみたら、良い本立てができました。釘が曲がった時も、先生が手伝ってくれたので良かったです。

さっそく、できた本立てを家で使ったら部屋がきれいになったので、作って良かったと思いました。また機会があれば、木工でいろいろなものを作りたいです。

大きくなったら大工になって家を作りたいです。

【陶芸コース】



以前、朝ドラで、とう芸をしているのを見て、私もやってみたいと思っていました。しかし、思った以上にむずかしかったです。特に水をつけすぎた時が困りました。はぐくみ先生が直してくれたのでうれしかったし、すごいと思いました。

私がこのとう芸で最も心に残っていることは2つあります。

1つ目は、友だちのことです。私が湯飲みを作っていて、ねん土が少し足りなくなった時に、みんなが少しずつ分けてくれました。うれしかったです。

2つ目は、はぐくみ先生たちのことです。先生は2人でみんなからひっぱりだこになっている時でも、ゆっくりと丁寧に教えてくれたのでとてもわかりやすかったです。初めてとう芸をして、作るのが大変なことがよく分かりました。やき上がって届くのがとても楽しみです。

【お花屋さんコース】



私がフラワーアレンジメントで心に残ったことは3つあります。

1つ目は、一つのお花ですごくいいしょうが変るといことです。マツボックリやかすみ草などを入れるとすごくきれいになりました。お花はとてもおもしろいと思いました。

2つ目は、お花にきょう味が持ったことです。お花は、それぞれ形も色もちがうのに、全てのお花がきれいなのはすごいなあと思いました。

3つ目は、フラワーアレンジメントの大変さです。私は、今までかざっているのを見てかんたんそうと思っていました。しかし、実さいにやってみると、どのくらい切ったらいいか、どこら辺にさせばきれいになるか等、すくなやみました。ますますフラワーアレンジメントのことで知りたいことがふえました。

コロナで行事ができないのかなと思っていたけど、こんな楽しい活動ができてうれしかったです、

【竹細エコース】



私が、竹細工をして思ったことは2つあります。

1つ目は、ものは見かけによらないということです。一見、ただ竹を交ごに上げ下げしているだけと思っていたけど、実さいは、しんちょうに固定しながら丁寧にやっていました。しかも3時間以上かかってできました。びっくりしました。

2つ目は、はぐくみ先生のすごさです。材料は種類がたくさんあって、何が何だか分からなくなっても、先生は、パッパッと次々と作って行きます。きっと、ぼくだけで作っていたら、形がおかしくなっていたと思います。

良い経験ができ、本当に勉強になりました。

「匠のWAZA高校生バージョン(ものづくり)」 三重第一小学校

12月8日(火) 15日(火)

三重第一小学校は、6年生がクラス毎に2日間に分けて三重総合高校を訪問して、生物環境科で草花部門フラワーデザインを選択している3年生を指導者として「ハーバリウム付きボールペン」を作成する「匠のWAZA」を行いました。主な作業は、ボールペンの上部の透明な容器にオイルを入れて、ドライフラワー(かすみ草など)とビーズなどを仕上がりのデザインを考えながら詰めるというものです。高校生の指導を受けながら全員が素敵なボールペンを作り上げることができました。

※ハーバリウムとは、植物標本という意味ですが、今では鑑賞目的でプリザーブドフラワーあるいはドライフラワーを透明な容器にオイル詰めにしたものです。



【三重第一小学校6年生の感想】

- ハーバリウムボールペンを作る時、高校生の皆さんがやさしく教えてくれたおかげで、ボールペンができました。それを母にプレゼントしました。とても喜んでくれました。
- ハーバリウムの作り方をやさしくていねいに教えてくれたので、とてもきれいなハーバリウムボールペンができました。また、三重総合高校の校舎がとても大きくて驚きました。野菜を育てるところについても知ることができて良かったです。
- 高校生の皆さんがとても上手く教えてくれたので、良いペンができました。うれしかったです。また、農場内見学では、高校生が育てている花を見ました。私たちのためにがんばってくれてありがとうございました。
- ハーバリウムでペンを作る時は、難しいところもあったけど、上手にできるコツとかを教えてくれたので、とっても楽しく作れました。また、農場内見学できれいな花を見ることができたことも良かったです。

「匠のWAZA (ものづくり)」 百枝小学校 12月15日(火)

百枝小学校では、6年生13名が本立てづくりにチャレンジしました。はぐくみ先生のお手本の技を見せてもらいながら、全員が立派な本立てを創り上げました。



- ・私は、小さい頃から本をたくさん持っていて、本だなに入りきれなくなっていたので、本立てを作ってみたいなどずっと思っていました。合澤さんのお手本はとても上手でわかりやすかったので、簡単に作ることができました。豊後大野市に女性の大工さんは1人しかいないと聞いてとてもびっくりしました。私は、大工さんという仕事がかっこいいなと思いました。
- ・私は、はじめて本立てを作りました。先生方のおかげで上手く作ることができて、今、大切に使っています。やさしく釘の打ち方やノコギリの使い方などたくさんのことを教えてくれました。ありがとうございました。
- ・釘の打ち方やノコギリでの切り方などを実際にやってみてくれてとてもわかりやすかったです。それに、衛藤さんは、私の祖父の家を造ってくれたと聞いて、びっくりしました。大工さんの仕事は、私たちの住む家を私たちが住みやすいように造ってくれる素晴らしい仕事だと思いました。
- ・分からないところをいっしょにやってくれてとても良い作品ができました。大工さんという職業についての質問にも答えてくれて、良い勉強になりました。今年は、新型コロナの影響で何かを作るとかできななかったけど、本立てを作れてとても感謝しています。